

# 阪神金属興業、高槻事業所が竣工

## 5日より本格稼働開始

ステンレススクラップの有力ヤードディーラーである阪神金属興業(株)(本社=尼崎市東向島西之町1番地、夏山春夫社長)は、かねてより進めてきた大阪府高槻市の新社屋・新ヤードがこのほど無事竣工を迎えた。2日に取引先関係各社を招き、開所式と竣工記念パーティーを行い、5日より本格的に業務(受け入れ)を開始している。

新しい事業所である「高槻事業所」は、大阪北摂エリアの大阪府高槻市唐崎北2-15-1に位置する。近くには府道14号線などの幹線道路が通っており、交通アクセスは至便の一言。今から30年程前、夏山社長が個人商店として商売を始めた茨木市星見町の創業地からも近く、思い入れの強い土地でもある。

夏山社長は「今から4年程前に、縁あって紹介頂いた土地は交通機関の便の良さ、周辺環境なども含め数々の好条件が揃っていたことから、この場所しかないと決意し、計画をスタートさせた」と語る。

高槻事業所は約900坪の敷地。鉄骨造り3階建ての開放的な社屋が目を引く。社長が建物に関してこだわったことは、

▶明るく快適なオフィスであること=社員が働きやすい環境づくりは、今まで以上に社員一丸となり向上をもたらす▶基礎部分をしっかりと=大地に根を張る大木は、どんな嵐にも負けない。大木と同様に基礎がしっかりしていれば、長く持ち堪えてくれる一以上の2点。

高槻ヤードの開設は、年々扱い量が増えることに伴い、現在の主力ヤードである尼崎・新日鉄住金構内のヤードが手狭



夏山春夫社長

になってきたことが挙げられ、スクラップ在庫管理の能力を高める狙いがある。また、日立建機製のマテリアルハンドリング機「ZAXIS 240LC」を今回導入し、迅速な処理を心掛ける。近くプレス機も設置する予定だ。いずれは本社事務機能を高槻事業所に移す考え。

大阪市北区の「帝国ホテル大阪」で行われた、竣工記念パーティーの挨拶で夏山社長は「新社屋は私の長年の夢でした。今から28年前、『これからはステンレスの時代だ』という広告にヒントを得て、茨木市の自宅で起業いたしました。当初は悪戦苦闘の連続でした。平成4年に阪神金属興業を立ち上げましたがステンレスの収集や資金繰りに奮闘する日々が続き、売値より、高く商品を仕入れ、自分は何をやっているのかと自問自答する毎日でした。その後、丸紅テツゲン様と協同で入札物件を落札し、山陽特殊製鋼様へ納品することにより自信が付き、その事が今日の我が社の礎になっていると思います。本日ご多忙の中、弊社の社屋開所式にお集まり頂き誠に有難うございます。新社屋が無事に竣工でき、皆様にお披露目できるのも、ひとえに日頃からご支援・ご協力頂いている関係各所の皆様、施工に携わって下さった皆様のご尽力のお陰であります。今後も弊社は、国内資源の国内還流の徹底を目指して、国内メーカー様のニーズに愚直に取り組み、お役に立てる事で、なくてはならない金属リサイクル会社を目指していきます」と謝辞を述べた。



高槻事業所新社屋



今回導入した日立建機製の重機



### 会社沿革

昭和63年3月	現社長の夏山春夫氏が個人商店にて、茨木市星見町で創業する。
平成元年3月	丸紅テツゲン株式会社との取引を開始し、山陽特殊製鋼株式会社へステンレススクラップの納入を始める。
平成4年6月	資本金300万円にて法人に改組し、社名を阪神金属興業株式会社とする。夏山春夫氏が代表取締役役に就任。
平成9年3月	住友金属工業株式会社への納入を始める。
平成12年6月	自動計量システム導入、仕入・販売・管理まで全コンピューター化し合理化を図る。
平成15年1月	日立金属株式会社との取引を開始する。
平成16年3月	兵庫県尼崎市の住友金属工業株式会社内にて、新ヤード『尼崎事業所』を開設する。
平成16年11月	JFE商事株式会社との取引を開始し、JFEスチール株式会社への納入を始める。
平成16年12月	大阪府高槻市にて、産業廃棄物の中間処理施設及び積替保管施設を立ち上げる。
平成18年6月	新潟県上越市にて、『直江津営業所』を開設する。
平成18年6月	大阪府摂津市にて、『摂津事業所』を開設する。
平成19年5月	日本高周波鋼業株式会社への納入を始める。
平成20年1月	新潟県上越市の株式会社住友金属直江津内にて新ヤード『直江津事業所』開設。
平成20年8月	本社事務機能を尼崎事務所へ移転。
平成22年12月	品質マネジメントシステム(ISO9001)の認証を取得。
平成24年	『関東事業所(千葉県袖ヶ浦市)』を開設。 ※現在は、千葉県美浜区で展開。
平成26年12月	大阪府高槻市にて、『高槻事業所』を開設する。